

2023年3月29日

関係各位

日本緑化工学会 緑化植物委員会  
委員長 今西 純一

「生物多様性に配慮した緑化植物の取り扱い方に関するガイドライン 2023（案）」  
に対する意見の募集について（依頼）

1. 背景

日本緑化工学会は2019年に「生物多様性保全のための緑化植物の取り扱い方に関する提言2019」を公表し、長期ビジョンとして「地域の生物多様性に配慮した低リスクかつ高コストパフォーマンスの緑化と、緑化植物の適切な取り扱いの実現」を、短期ビジョンとして「地域性系統の植物による緑化の推進」と「外来植物による緑化におけるリスク管理の実施」を掲げています。これらのビジョンの実現に向けて、このたび緑化植物委員会において、実務における緑化植物の取り扱い方の基本的方針を示したガイドライン（案）を作成いたしました。本ガイドラインは、生物多様性に配慮した緑化植物の取り扱いのあり方を示すことによって、政策立案者や発注者、計画・設計者、種苗供給者、施工者、植生管理者等の緑化関係者に参考となる資料を提供すること、また、現行の予算確保、発注～施工等のプロセスの見直しや既存の手引きや指針等のアップデートを促すことを意図して作成したものです。本案について、緑化に関わる皆様からご意見を募集します。

2. 意見募集の対象

生物多様性に配慮した緑化植物の取り扱い方に関するガイドライン 2023（案）

3. 意見募集要領

(1) 意見募集期間

2023年4月16日（日）まで

(2) 意見提出方法

次の様式により、Google フォーム、メールのいずれかの方法で（3）の提出先へ提出してください。なお、郵送やFAX、電話での意見提出はお受けいたしかねますので、あらかじめ御了承ください。

(注意事項)

- ・ 提出いただきましたご意見については、氏名、電話番号及びメールアドレスを除き、すべて公開される可能性があることをあらかじめご了承ください。
- ・ 皆様からいただいたご意見に対し、個別にお答えすることはできませんので、ご了承ください。

- ・ ご意見の対象となるガイドライン（案）の該当箇所を明記してください。
- ・ ご意見中に、個人に関する情報であって特定の個人が識別しうる記述がある場合、または法人等の権利等を害するおそれがあると判断される場合には、公表の際に当該箇所を伏せさせていただくこともあります。

〈意見提出様式〉

宛先：日本緑化工学会 緑化植物委員会

件名：日本緑化工学会ガイドライン（案）に対する意見

氏名：

所属：

学会員・非学会員の別：

職業（学生を含む）：

電話番号：

メールアドレス：

〈意見〉

各意見の最初に、ガイドライン（案）の該当箇所を頁・行番号でお示してください。

〈例〉

（１）１頁左 10 行目 A 植物は現在ほとんど利用されていないため、B 植物を挙げる方がよいのではないのでしょうか。

（２）10 頁右 20～25 行目 緑化業界では C 指針の影響力が大きいため、C 指針に関する記載を追加することが望まれます。

※ 記載の際は、ローマ数字（I）などの機種依存文字は文字化けするためお使いいただけませんので、ご注意ください。

（３）意見提出先

日本緑化工学会 緑化植物委員会 あて

〔1〕【推奨】Google フォームの場合 <https://goo.gl/forms/mX90R4wRcsgWjMil2>

※ 日本緑化工学会ホームページに本フォームへのリンクを掲載します

〔2〕メールの場合 [teigen@jsrt.jp](mailto:teigen@jsrt.jp)

※ メールにて提出される際は、上記様式に準じてメール本文に記載の上、送付してください。添付ファイルによるご意見の提出はご遠慮願います。件名に「日本緑化工学会ガイドライン（案）に対する意見」と記載してください。

4. 資料の入手方法

日本緑化工学会ホームページ

[http://www.jsrt.jp/tech/guideline2023\\_pub\\_comment.html](http://www.jsrt.jp/tech/guideline2023_pub_comment.html)

5. 問い合わせ先

日本緑化工学会緑化植物委員会 メール：[teigen@jsrt.jp](mailto:teigen@jsrt.jp)